

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 国際推進室	所属長名	堀谷 修	電 話	483-1151 内線2337
-----	-------	-----	-------------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4079		事務事業名称	平和事業					短縮コード	経常		臨時	4079
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	企画費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市八千代平和事業市民実行委員会補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和62年9月に本市が平和都市宣言を行ったことを機に平和事業を始める。 市，文化・スポーツ振興財団，市民で組織された「八千代平和事業市民実行委員会」の三者共催による平和映画の上映や平和コンサート，演劇の公演等を行っている。 また毎年8月6日に市主催の「黙とうと献花のつどい」を実施し，市民相互の平和意識の高揚を図っている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の 施策体系	6本の柱（章）	07	計画の推進のために						
平和映画や平和コンサートは平成7年から八千代市文化振興財団と共催で実施、平成12年からは、市と財団、市民で構成する平和事業市民実行委員会を加え、行政主導型から市民参加型に転換し、市民全体の平和事業を展開している。					大項目（節）	01	市民主体による自立的な行政経営						
					中 項 目	02	第2章地域の視点に立った主体的なまちづくりの推進						
					小 項 目	02	(2)平和と交流によるまちづくりの推進						
					細 項 目	01	①市民が願う非核平和によるまちづくりの推進						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 勝田台文化センターで戦争と平和をテーマにした立体講談「はだしのゲン」の開催。同じく、勝田台文化センターで元ひめゆり学徒の沖縄戦の体験を語る平和講演会の開催。 市民会館・平和祈念碑前で「黙とうと献花の集い」を実施。							
	※平成24年度に計画していること： 勝田台文化センターで平和に係るコンサートの開催。勝田台ステーションギャラリーで沖縄戦を題材にしたパネル展を開催。 市民体育館で「黙とうと献花の集い」を実施。							
意図 （何を狙っているのか）	平和コンサートや沖縄戦のパネル展及び黙とうと献花の集いなどの平和事業を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを多くの市民に理解してもらう。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民	人	193,274	196,400	192,884	199,500	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	八千代平和事業の実施回数	回	2	2	2	2	
	指標2	「黙とうと献花の集い」の開催準備日数	日	4	4	4	4	
	指標3							
成果指標	指標1	八千代平和事業の参加人数	人	645	500	673	550	
	指標2	黙とうと献花の集いの参加人数	人	167	170	203	200	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4079	事務事業名称	平和事業				所属名	総合企画課 国際推進室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			この事業は、八千代平和事業市民実行委員会と共催で行っている。また同会会議では、事業結果について評価・検証する場を設け、次回の事業に反映させている。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			この事業は、八千代平和事業市民実行委員会と共催で行っている。また同会会議では、事業結果について評価・検証する場を設け、次回の事業に反映させている。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☐	☒	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
戦後 6 7 年が経過し、徐々に戦争経験者が高齢化している中で、次代への平和啓発の有効な継承方法について考えていかなければいけないという指摘が市民よりあった。									

所属長コメント	戦後67年が経過し、戦争体験者が少なくなっている現在、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代を担うこどもたちに伝えていくことが大切である、そのため、子どもたちや若者が参加しやすい事業となるよう八千代平和事業市民実行委員会と連携し検討する。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									